

日本大学鶴ヶ丘高等学校同窓会総会

新型コロナウイルス感染症の予防のため、昨年度までは書面決議により議決する方式を実施していました。本年度の総会は同感染症に対する社会情勢や母校の入構規制の終了に伴い、対面方式により開催します。本年度の総会では昨年度の総会で提案しました「時代と社会情勢に合わせた同窓会制度の変更に関する提案」の審議と議決を行います。この議案は同窓会の制度を大幅に変更するものであり、同窓生の皆様にその内容をお伝えしてご意見をいただく期間を1年間設けてきました。提案の内容と役員会での審議の過程は昨年度の総会と、その後約10ヶ月間にわたり同窓会公式ホームページでお伝えしました。本年度の総会にて再度提案を行い審議を行います。

総会の開催要綱

開催期日： 2024年11月9日（土曜日） 13:00

開催場所： 日本大学鶴ヶ丘高等学校 大会議室

※ 開催日当日は12:45から学校に入構することができます。

当日は通常の通学日です。生徒達の下校時間と一部重なりますので12:45以前の入構は控えるようお願いします。

返信はがきによる議決権行使

会報誌とともにお送りしている返信はがきにより議案の賛否に関する議決権行使をおこなうこともできます。この場合は投函締切日までに返信はがきを投函くださいますようお願いいたします。

議案（会報誌）発送日	10月 中旬
返信はがき（議案の賛否の投票）の投函締切日	11月 1日（金曜日）
総会開催日	11月 9日（土曜日）
議決結果のホームページでの公表日	11月 17日（日曜日）

日本大学鶴ヶ丘高等学校 同窓会 議案

- 第一号議案 2023年度事業報告及び決算報告の承認並びに会計監査報告
- 第二号議案 2024年度事業計画（案）及び予算（案）の提案
- 第三号議案 時代と社会情勢に合わせた同窓会制度の変更に関する提案

2023年度 同窓会事業報告

会則の目的の達成のために以下の事業を行うとともに会員相互の親睦を図り、母校の発展に協力しました。

同窓生相互の親睦向上への活動

- ・ 会報誌の発刊（2023年10月）

昨年度、全国高等学校野球選手権西東京大会で準優勝した母校野球部の活躍を、巻頭特集として「野球部熱戦の軌跡」として掲載しました。母校放送部の活動や鶴ヶ丘祭への出展、シリーズとして掲載している Historia 鶴ヶ丘 では「下馬から和泉」と題して母校が現在の地に設けられる過程をお伝えしました。発行部数は 20,000部です。
- ・ 総会の開催（2023年11月）

総会の開催を決定する時点で新型コロナウイルスが感染症法上の位置づけがまだ「5類」ではありませんでした。総会は確実に開催する必要があるため前年度と同じ書面による議決方式として開催しました。
- ・ 懇親会の開催（2023年11月）

新型コロナウイルス感染症の予防のため開催を取りやめていましたが、同窓生の多くの皆様から開催のご要望があり4年ぶりに開催しました。母校の入構規制の可能性がありましたので校外での開催としました。多くの同窓生や先生方にご出席いただき盛会に催すことができました。
- ・ 鶴ヶ丘祭に出展（2024年6月）

同窓生の出会いの場として、待ち合わせ場所として同窓会ブースを出展しました。同窓生をはじめ多くの皆様にご来場いただきました。
- ・ 25歳の同期会（2024年7月）

卒業の7年後に同窓会主催の同期会を開催する事業です。新型コロナウイルス感染症の予防のために延期していました。今年度は2014年度、2015年度の卒業生を対象に母校で開催しました。学校の全面的なご協力により多くの同年度卒業の同窓生が集いました。
- ・ 広報活動の強化
多くの同窓生に同窓会からの情報や母校の近況をお伝えするために、会報誌、個別DMなどのオフライン媒体、同窓会公式ホームページをはじめSNSなどで情報提供を進めました。
- ・ 交流事業
他校同窓会での運営状況の調査や、交流を深める目的で実施する事業です。本年度はその準備として同窓会を紹介する冊子の制作を行いました。
- ・ 上記に付帯する事業と運営

母校の発展への協力

- ・ 生徒活動の支援（全国大会、関東大会への出場、体育祭への特別賞など）
- ・ 新入会員に記念品を贈呈（校歌のオルゴール）
- ・ 鶴ヶ丘祭に出展（母校の行事に協賛、生徒や教職員に同窓会のPR）
- ・ 卒業式の参列（2024年3月）
- ・ 入学式の参列（2024年4月）
- ・ 会報誌の配付（生徒、教職員）

2023年度 同窓会決算報告書

以下のとおり、報告申し上げます。

2023年度：2023年9月1日～2024年8月31日

収入の部

(単位:円)

科目	2023年度			摘要(2023年度)
	予算額	決算額	予実差	
1. 入会金	9,000,000	9,060,000	60,000	453名(2023年度)
2. 維持会費	1,000,000	657,000	△ 343,000	219名
3. 特別会費	200,000	336,000	136,000	懇親会の開催
4. 受取利息	200	1,825	1,625	
5. 寄付金	2,000,000	1,079,390	△ 920,610	
6. 雑収入	0	0	0	
(A) 当期収入合計	12,200,200	11,134,215	△ 1,065,985	
前期繰越収支差額	28,730,679	28,730,679		
(B) 収入合計	40,930,879	39,864,894	△ 1,065,985	

支出の部

科目	2023年度			摘要(2023年度)
	予算額	決算額	予実差	
1. 事務局費	30,000	13,989	△ 16,011	事務用品、コピー代等
2. 通信・運搬費	30,000	25,823	△ 4,177	役員会等案内・事務通信
3. 会合費	120,000	90,303	△ 29,697	役員会・幹事会等
4. 支払い手数料	110,000	118,604	8,604	銀行送金手数料、郵便払出し料金
5. 慶弔費	100,000	65,499	△ 34,501	感謝状・他
6. ホームページ関係費	600,000	416,020	△ 183,980	制作費、webレンタル料
7. デジタル化促進費	70,000	75,576	5,576	グループウェア使用料
8. 個人情報管理費	436,000	435,600	△ 400	名簿データベース管理費用
9. 会報誌発行費	1,200,000	1,174,090	△ 25,910	総会案内、会報誌制作、印刷
10. 総会案内等郵送費	2,200,000	2,419,491	219,491	会報誌発送
11. 総会費	700,000	883,203	183,203	懇親会費用
12. 鶴ヶ丘祭	150,000	37,365	△ 112,635	同窓会ブースの出展
13. 卒業記念品代	2,100,000	2,100,000	0	
14. 生徒活動奨励金	1,000,000	931,958	△ 68,042	全国・関東大会等出場時他
15. 事業活動費	550,000	14,458	△ 535,542	卒業記念事業
16. 寄付事業	70,000	0	△ 70,000	
17. 25歳の同期会事業	1,000,000	732,611	△ 267,389	2014,2015年度卒業生
18. 交流事業	310,000	402,754	92,754	案内冊子の制作
19. 新制度準備費用	200,000	935	△ 199,065	
20. 予備費	100,000	0	△ 100,000	
(C) 当期支出合計	11,076,000	9,938,279	△ 1,137,721	
(A)-(C) 当期収支差額	1,124,200	1,195,936	71,736	
(B)-(C) 次期繰越収支差額	29,854,879	29,926,615	71,736	
(D) 未払金		793,198		25歳の同期会事業等の未払金
(E) 資産繰越額		30,719,813		

財産目録

2024年8月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
資産の部		
1. 現金	271,661	受取人払郵便支払用(学校に預託)・他
2. 普通預金		
みずほ銀行北千住支店	7,304,433	一般会計口座
みずほ銀行神田支店	3,824,234	寄付事業口座
みずほ銀行神田支店	1,884	会計事務口座
みずほ銀行神田支店	15,001,504	引当金口座
三菱UFJ銀行西永福支店	188,032	その他(過去に開設した口座)
3. 株式会社ゆうちょ銀行		
振替口座 00150-4-613083	4,128,065	維持会費入金口座
資産合計		
正味財産	30,719,813	

上記のとおり報告いたします。

2024年9月10日

日本大学鶴ヶ丘高等学校同窓会

会長 田中 則雄 (印)

会計 大畑 雅弘 (印)

会計監査報告書

2023年度の事業報告、決算報告書、財産目録について厳正に監査した結果、全て適法かつ正しく処理されていることを認めます。

2024年9月14日

会計監査 半戸 祐次 (印)

2024年度 同窓会事業計画（案）

会則の目的の達成のために以下の事業を行うとともに、会員相互の親睦を図り、母校の発展に協力します。ただし、本年度は「第3号議案 時代と社会情勢に合わせた同窓会制度の変更に関する提案」が賛成多数で可決された場合は、新しい制度への移行に伴い新しい制度の下、事業計画が変更になります。

スローガン

心のふるさと!!

同窓生が明るく・楽しく・元気よく集まれる同窓会

2024年度の方針

同窓会は、校長先生をはじめ教職員の先生方との距離感を縮め、学校の状況を十分に理解したうえで教育活動に寄与していきます。また、日本大学付属高等学校同窓会との交流や日本大学との繋がりをもち、視野を広げて同窓会活動の向上のために努めます。

事業計画案

同窓生に対しての、入口の明確化

- ・ 会報誌の発刊（2024年10月）
- ・ 同窓会総会の開催（2024年11月）
- ・ 懇親会の開催（2024年11月）
- ・ 部活動OB・OG会との連携強化
- ・ 25歳の同期会の開催
- ・ 鶴ヶ丘祭で同窓会ブースの設営
- ・ 広報活動の強化
- ・ 同窓会活動の情報発信
- ・ ICT利用の充実化
- ・ ホームページ事業の運営
- ・ 寄付事業
- ・ 他校同窓会との交流事業
- ・ 新しいプロジェクトの計画
- ・ 新しい制度の策定
- ・ その他

在校生に対しての十分な支援及び補助

- ・ 生徒活動支援
- ・ 生徒会との共同活動
- ・ 卒業記念事業
- ・ 鶴ヶ丘祭の支援
- ・ 卒業式の参列（2025年3月）
- ・ 入学式の参列（2025年4月）
- ・ その他

2024年度同窓会予算(案)

2024年度：2024年9月1日～2025年8月31日

収入の部

(単位:円)

科目	2023年度予算額	2023年度決算額	2024年度予算額	前年予算差異	摘要(2023年度予算額)
1. 入会金	9,000,000	9,060,000	9,000,000	0	450名
2. 維持会費	1,000,000	657,000	1,000,000	0	333名
3. 特別会費	200,000	336,000	924,000	724,000	懇親会、歓送迎会の開催
4. 受取利息	200	1,825	200	0	
5. 寄付金	2,000,000	1,079,390	2,000,000	0	
6. 雑収入	0	0	0	0	
(A) 当期収入合計	12,200,200	11,134,215	12,924,200	724,000	
前期繰越収支差額	28,730,679	28,730,679	29,926,615	1,195,936	
(B) 収入合計	40,930,879	39,864,894	42,850,815	1,919,936	

支出の部

科目	2023年度予算額	2023年度決算額	2024年度予算額	前年予算差異	摘要(2024年度予算額)
1. 事務局費	30,000	13,989	30,000	0	事務用品、コピー代等
2. 通信・運搬費	30,000	25,823	30,000	0	役員会等案内・事務通信
3. 会合費	120,000	90,303	100,000	△ 20,000	役員会・幹事会等
4. 支払い手数料	110,000	118,604	110,000	0	銀行送金手数料、郵便払出し料金
5. 慶弔費	100,000	65,499	100,000	0	感謝状・他
6. ホームページ関係費	600,000	416,020	600,000	0	制作費、webレンタル料
7. デジタル化促進費	70,000	75,576	80,000	10,000	Web会議、各種ツール費用
8. 個人情報管理費	436,000	435,600	446,000	10,000	名簿データベース管理費用
9. 会報誌発行費	1,200,000	1,174,090	1,200,000	0	会報誌制作、印刷
10. 総会案内等郵送費	2,200,000	2,419,491	2,500,000	300,000	(前年度は会報誌と別に発送)
11. 総会懇親会費	700,000	883,203	800,000	100,000	2024年度総会懇親会開催
12. 鶴ヶ丘祭	150,000	37,365	100,000	△ 50,000	
13. 卒業記念品代	2,100,000	2,100,000	2,100,000	0	生徒支援の強化
14. 生徒活動奨励金	1,000,000	931,958	1,200,000	200,000	大会出場時・他、生徒支援の強化
15. 事業活動費	550,000	14,458	200,000	△ 350,000	事業活動に伴う支出、(旧)委員会活動費
16. 寄付事業	70,000	0	70,000	0	寄付者等へのお礼状
17. 25歳の同期会事業	1,000,000	732,611	1,000,000	0	2016,2017年度卒業生の同期会開催
18. 交流事業	310,000	402,754	310,000	0	他の同窓会との交流
19. 新制度準備費用	200,000	935	200,000	0	新しい制度の構築に伴う費用
20. 歓送迎会			715,000	715,000	校長の歓送迎会
21. 予備費	100,000	0	100,000	0	
(C) 当期支出合計	11,076,000	9,938,279	11,991,000	915,000	
(A)-(C) 当期収支差額	1,124,200	1,195,936	933,200	△ 191,000	
(B)-(C) 次期繰越収支差額	29,854,879	29,926,615	30,859,815	1,004,936	

総会 第三号議案 時代と社会情勢に合わせた同窓会制度の変更に関する提案

本提案は制度の大幅な変更となりますので、昨年度の総会で提案をおこないました。
本年度の総会で審議と議決をおこないます。

1. 背景と目的

会則の制定後、約65年間が経ちその間に同窓会を取り巻く環境も大きく変わりました。同窓生を繋ぐ役割を担っている同窓会ですが、SNSなど同窓生を繋ぐ手段は多様化しています。同窓会の存在意義や、少子化に伴う母校の支援内容、同窓生同士の新しい繋がり方など、時代や社会の変遷にともなう課題が生じています。この課題を達成するために同窓会の環境に合わせて同窓会の永続的な発展をめざして制度の変更を行うことを目的とします。

2. 同窓会の課題

近年の同窓会の課題は以下のとおりです。

- ・ 同窓会への関心度の低下及び行事参加者の漸減並びに役員の担い手の減少の解決
- ・ 同窓生に対する連絡手段、会費徴収の方法などの適正化
- ・ 同窓会資産の増加に対応した財産管理と会計制度の実現
- ・ 母校の諸課題への対応

2023年3月時点で卒業生数は 3万7千名を超え、会報誌の発送などは約1万6千名に対して行っています。財務関連では2023年度の予算（収入合計ベース）は4千万円を超えています。これらの状況に対して、現在は任意団体であるため各種契約や資産管理は役員の個人で対応せざるを得ない状況です。

3. 制度の変更に関する提案

前項の課題を達成するために以下を提案します。

- ・ 同窓会の法人化（一般社団法人を想定しています。）
 - 各種の契約、財産管理、会計制度を法人の下行う。
 - 役員の責務と責任を明確にする。
- ・ 同窓会会員の希望に柔軟に対応
 - 時代に即したコミュニケーション手段を採用する。
 - 会員種別を創設してご支援とサービス提供の最適化をめざす。
- ・ 同窓会の目的を達成すべく時代に即した手段で対応
 - 時代に即した手段を採用する。
 - デジタル化と旧来の手段を適切に使い分ける。

▶ 第3号議案の詳細な内容や役員会での審議過程はホームページでご覧いただけます。

<https://ntdosokai.jp/future/>



4. 定款（案）

一般社団法人を設立するときの定款は同窓会公式ホームページに掲載します。ホームページのURLは「6. 詳細な内容」をご参照ください。

定款（案）は役員会の審議と昨年度の総会以降に寄せられた同窓生の皆様からのご意見に基づき、専門家（司法書士、税理士）との協議を重ねて策定しました。

5. 新しい制度での変更内容

現在の同窓会会則から変更となる主な内容は以下のとおりです。

- ・ 同窓会組織を任意団体から一般社団法人に変更
- ・ 会員の種類を複数に分割、新たに賛助会員を新設
- ・ 代議員制度の導入
- ・ 理事制度への変更
- ・ 理事会の設置
- ・ 維持会費の金額と納入方法の変更
- ・ 維持会費の減免制度の導入
- ・ 情報提供の方法を会員種別により複数の提供方式に変更
- ・ コンプライアンス制度の変更
- ・ ガバナンス制度の変更
- ・ 基金制度の新設

6. 詳細な内容

第三号議案の詳細な内容や、役員会での審議過程、一般社団法人を設立するときの定款（案）などの情報はページ数が多いため同窓会公式ホームページに掲載しました。ホームページのURLは以下のとおりです。

<https://ntdosokai.jp/future/>



同窓会への連絡先

同窓会への以下に関するお問い合わせ先です。

- ・ 住所などの個人情報の変更お届け
- ・ 維持会費、寄付に関すること
- ・ 子女の母校への入学に関すること
- ・ 同窓会へのご意見
- ・ クラス会、同期会等の開催情報
- ・ 思い出の品に関する情報

ホームページへのアクセスURL ▶



【事務局】

住所： 〒168-0063

東京都杉並区和泉 2-26-12

日本大学鶴ヶ丘高等学校 同窓会 事務局

メールアドレス： tsurugaoka@ntdosokai.jp

ホームページ： <https://www.ntdosokai.jp>